

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
1	提案書作成要領	-	提案書とは別にプレゼンテーション資料を作成する予定ですが、提案書提出期日である、令和3年11月25日までに提出が必要でしょうか。それともプレゼンテーション当日でよろしいでしょうか。	第4次図書館情報システム設計開発業務委託提案書作成要領「1 提案書として提出する資料」(2)＜提案書内容＞(か)で定める付属資料に該当しない場合は提出不要です。 プレゼンテーションの際に使用できる資料、説明内容についての詳細は提案内容説明会の通知にて指定しますが、提案書記載の内容の範囲を超えることはできませんので留意してください。
2	入札説明書	1ページ 1(6) 予定価格 5ページ 8(2) 入札書 7ページ 11(1) 落札者の決定	予定価格は1(6)に「消費税及び地方消費税相当額を含まない。」とあり、入札書に記載する金額は8(2)に「契約希望金額の110分の100に相当する金額」とあります。 従って予定価格と入札額は税抜き金額と受け取れますが、11(1)イには「入札額が予定価格の110分の100を上回った場合」は落札者としなないと記載があり、予定価格は税込み金額のように見えます。 予定価格、入札額ともに税抜き金額であれば、11(1)イは「入札額が予定価格を上回った場合」と理解して良いでしょうか。	入札説明書「11 落札者の決定」「(1) 落札者の決定」イは、課税業者においては、お見込みのとおりです。「入札額（契約希望額（消費税及び地方消費税相当額を含まない。））が予定価格（消費税及び地方消費税相当額を含まない。）を上回った場合」と同義と捉えてください。
3	設計書・仕様書	5ページ 3 委託業務の範囲 (11) 本稼働立会い	"地域図書館・取次拠点（図書館が指定する複数箇所）"については、何か所の想定でしょうか。 "移動図書館（図書館が指定するステーション1か所）"は、終日か1か所半日想定かどれぐらいの時間ででしょうか。	地域図書館・取次拠点については計2か所での立会いの想定です。また、移動図書館は1か所一時間程度の立会いを必須とします。本市想定と異なる提案があれば、明記してください。
4	設計書・仕様書	23ページ 9 システム構築要件 (7) システム移行要件	「現行システムに蓄積されているデータのうち、引き続き本システムで利用が必要なものについてはデータ移行する」とのことですが、移行対象のファイルは別紙6に記載のものが全てという認識でよいでしょうか。	別紙6「現行システムの利用状況（移行対象データ）」に記載するデータは全て移行対象とする想定です。これに加え、現行システムの蓄積データのうち、仕様の実現に必要なデータは移行対象とします。
5	設計書・仕様書	25ページ 9 システム構築要件 (7) システム移行要件	表9システム別リリース時期想定について、年始は機器の入替に伴う休館もあるかと思いますが、基幹業務システムはデータの移行を完了させた上で1月4日に利用するという理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。異なる日程でリリース時期をご提案される場合、詳細を提案書に記載してください。
6	設計書・仕様書	28ページ 9 システム構築要件 (9) 研修要件	1回あたりで参画できる人数について質問です。 研修会場で利用できる会場の広さや収容人数はどれぐらいでしょうか。	中央図書館での集合研修の場合、研修会場の収容人数は最大30人程度です。各地域図書館で研修を実施する場合は、施設の状況によって異なります。 なお、現行システムへの移行時に実施した集合研修（複数回実施）では1回あたり20人程度が参加しました。
7	別紙7_運用・保守要件	49-50 メール関連対応	メール文言の変更の頻度や、アカウント追加変更の頻度をご教示ください。このような変更についてベンダー側が運用保守で実施する、という理解でよいでしょうか。	メール文言の変更は、市民サービスへの影響が大きい不測の事態が発生した場合（数週間に及ぶ全館的な臨時休館の発生等）に実施します。年間で1～5回程度の想定です。 アカウント追加変更については直近5年間では発生しておりません。 これらの変更は、図書館が指定する日に反映可能であれば、運用保守作業での実施やシステムによる自動登録といった実現の手段は問いません。

## 第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
8	別紙7_運用・保守要件	88-94 帳票・統計・データ出力処理	帳票の出力と「納品」について、帳票出力や印刷の現在の運用上の分担を教えてください。 例) データ出力し、共有フォルダへ配置紙で印刷し、職員様へ引き渡しまではがきについては発送までか、など	各項番の運用を以下に示します。なお、自動化等の手法により、効果的かつ効率的な実施の提案も可としますが、その場合は対象の要件を具体的に提示してください。 ■項番88、89：両面印刷済みのはがきを中央図書館内の指定の場所に納品（発送は図書館が実施） ■項番91、93、94：データ出力・共有フォルダ保存 ■項番90、92：データ出力・各館指定プリンタ（18か所）へ印刷指示
9	入札説明書	p11(6) 予定価格	予定価格は回答様式1 必要経費見積書の項番1（1）～（4）令和4年4月1日～令和6年3月31日までの経費の予定価格という理解で正しいでしょうか。 異なる場合、予定価格に含まれる項番と期間をご教示願います。	お見込みのとおりです。
10	入札説明書	p410 提案内容説明会	提案内容説明会はいつ頃を予定しているかご教示願います。	12月17日（金）、12月20日（月）から12月23日（木）までの間のいずれか1日を予定しています。入札参加者には、提案書受領後に別途通知いたします。
11	入札説明書	p411 落札者の決定	落札者の決定はいつ頃を予定しているかご教示願います。	令和4年3月上旬を予定しています。
12	設計書・仕様書	表紙 8部分払	8部分払の項目で「する（4回以内）」とございますが、5回以上は認めないという理解で正しいかご教示願います。 また、その下に履行予定月の異なる4つの業務内容がございますが、4回以内とは各業務内容完了時に支払った場合を想定していると考えて良いかご教示願います。 それぞれの支払時期は貴市の検収が完了し、請求書受領後30日以内と考えて良いかご教示願います。 業務内容、履行予定月は4つございますが、契約は委託件名 第4次図書館情報システム設計開発業務委託のひとつの契約となると考えて良いかご教示願います。	いずれの御質問についても、お見込みのとおりです。
13	設計書・仕様書	p5 3. 委託業務の範囲内 (8) 操作研修	「操作研修については一般的なものではなく本市の業務の運用に沿った形での内容とすること」と、ございます。 事前（操作研修を行う前）に貴市の業務の運用方法について、内容をご提示いただけるのでしょうか。	事前に本市の図書館業務について、ご説明いたします。
14	設計書・仕様書	p5 3. 業務委託の範囲 (10) 現地設置調整	「機器調達業者と協力し」とございますが、現地への機器の設置作業、ソフトウェアの導入設定作業、動作確認、展開報告書の作成は、当第4次図書館情報システム設計開発業務委託受託業者の作業範囲という理解で正しいかご教示願います。	お見込みのとおりです。機器の設置調整作業は本調達の範囲に含んでおり、「展開手順書」、「展開結果報告書」を作成していただきます。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
15	設計書・仕様書	p7 4. 履行場所 表2 履行場所	「クライアント端末設置場所（現行：オフライン）」として、青葉区内地区センター7か所が記載されています。 また「別紙4 運用場所別構成台数」に、これら7か所には地域間接続ルータの台数が記載されておりません。 これら7か所の地区センターは、次期システムでもオフラインで業務を運用されるため、地域間接続用ルータ等の調達費用は御見積不要との理解でよろしいでしょうか。	現行どおり、オフラインでの業務運用をご提案いただく場合はお見込みのとおりです。なお、現行とは異なる効果的かつ効率的な運用をご提案いただく場合は、対象の要件を具体的にご提示いただき、必要な調達費用を回答様式1に記載してください。
16	設計書・仕様書	p7 4. 履行場所 表2 履行場所	「図書取次拠点」で行われる、図書館システムと関わる業務についてご教示ください。	オンライン端末を設置している図書取次拠点の業務は、予約図書の貸出、貸出延長、図書の返却、登録更新、他館から回送された図書の受取（搬送受取）、帳票の抽出・出力です。 オフライン端末を設置している図書取次拠点（青葉区地区センター）の業務は、予約図書の貸出と図書の返却です。詳細は、現行業務説明資料の現行業務フローより、「5_青葉区地区センター貸出返却データ更新」を御参照ください。
17	設計書・仕様書	p8 5. 履行期間 (2) 構築スケジュール 表3 本市が想定する開発スケジュール	別途調達する契約の項目に、サーバ調達、端末等調達、運用保守、回線調達の4つの記載がございますが、それぞれ別々に調達し契約締結されるという理解で正しいかご教示願います。	お見込みのとおりです。
18	設計書・仕様書	p43. 委託業務の範囲 (2) 機器等賃貸借仕様書案及び回線調達仕様書案作成	回線調達の対象は、インターネット回線、WAN回線、移動図書館用モバイル回線となり、それらの仕様書案を作成する認識でよろしいでしょうか。	現行運用と同等の構成であれば、御提示の回線類が調達対象となります。貴社システムで別途必要となる回線があれば、そちらも対象とします。
19	設計書・仕様書	3. 委託業務の範囲	各館のLAN張替え工事はなく、既存のものを使用する想定でよろしいでしょうか。	各館のLAN張替え工事は現時点では未定であり、本調達範囲外です。
20	設計書・仕様書	3. 委託業務の範囲	機器の追加・移設によるLAN工事はございますでしょうか。 LAN工事ありの場合は、費用を含める必要がございますでしょうか。また、現地調査は可能でしょうか。	機器の追加・移設によるLANケーブルに係る工事については、現時点では未定です。また、本調達範囲外のため現地調査は不要である想定です。よって、回答様式1はその分の経費を含めず、記載してください。
21	設計書・仕様書	3. 委託業務の範囲	現行システム機器の撤去・引上げ費用は、今業務の対象外との認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
22	設計書・仕様書	3. 委託業務の範囲	リース満了後の機器撤去とデータ消去作業は、今業務の対象外との認識でよろしいでしょうか。 ただ、これらの作業費は、回答様式1 必要経費見積書の2～4のいずれかに含めた方がよろしいでしょうか。	本調達の対象外となりますが、作業に係る費用については回答様式1の項番2に計上してください。
23	設計書・仕様書	3. 委託業務の範囲	中央図書館様にサーバを設置する際に、耐震固定等の措置は必要でしょうか。その作業費については、今御見積に含めた方がよろしいでしょうか。	本調達の対象外となりますが、耐震固定等の措置は必要です。作業に係る費用については回答様式1の項番2に計上してください。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
24	設計書・仕様書	5 履行期間 表3 本市が想定する開発スケジュール サーバ調達	想定スケジュールでは、令和4年8月頃～令和5年12月に納品・構築・移行となっておりますが、中央図書館様に、現行システムと並行してサーバラックが設置可能と考えてよろしいでしょうか。 また、並行設置に必要な電源等のインフラ工事費用は、本調達に含める認識でよろしいでしょうか。 現地調査が必要な場合は可能でしょうか。	並行しての設置が可能です。 設計書・仕様書「9 システム構築要件」「(4) ハードウェア・ネットワーク要件」「イ ハードウェアの選定」に記載のとおり、図書館内へのサーバ設置に伴い電源工事が発生する場合は、別途調達を行うこととします。そのため、本調達の対象外となります。回答様式1はその分の経費を含めず、記載してください。 また、本調達範囲外のため、現地調査は不要である想定です。
25	設計書・仕様書	p10 6. 現行システムの課題と次期システムの構築方針 (5) 市民の読書活動や学校教育をささえる新たな図書館機能への対応	「学校図書館と連携」とは、システムの連携を想定していますでしょうか。システム連携の場合、必要なオプション費用・サーバリソース等は本調達に含めた方がよろしいでしょうか。	必ずしもシステム連携を想定していません。システム連携を御提案いただく場合に必要費用があれば回答様式1の項目別に計上してください。
26	設計書・仕様書	p12 7. 機能要件 (2) インターネット蔵書検索システム (3) デジタルアーカイブ (5) 地区センター蔵書検索システム (6) 横浜市地域情報ポータル	現在、以下2つのURLとなっており、さらにトップページは貴市のページの一部になっているかと存じます。 ・opac.lib.city.yokohama.lg.jp ・www.lib.city.yokohama.lg.jp  トップページも含めて、全て統合するご提案を差し上げてよろしいでしょうか。 (例えば、www.lib.city.yokohama.lg.jp へ統一)	ご提案ください。
27	設計書・仕様書	p13 7. 機能要件 (3) デジタルアーカイブ	現在のコンテンツ容量、毎年の増加容量をおおよそで結構ですので、ご教示ください。	以下のとおりです。なお、毎年の増加容量は年度によって増減があり、昨年度実績で提示しますので御推計ください。 全登録コンテンツ容量：約521GB 昨年度コンテンツ追加実績：約2,250MB（約100件）
28	設計書・仕様書	p15 8. 非機能要件 (2) セキュリティ要件 ウイルス対策	業務端末にログインするWindowsアカウントの運用が、共有アカウントか個人アカウントかご教示ください。 また、個人アカウントの場合、アカウント数もご教示ください。 ※プロキシ製品のライセンス計上に必要になります。	現行では、図書館職員向けとして約130アカウントを運用しています。このほかに運用保守業務等でアカウントが必要であれば、御推計ください。
29	設計書・仕様書	p16 8 非機能要件 (2) セキュリティ要件	個人情報保護に関するセキュリティ要件はございますでしょうか。	設計書・仕様書「13 適用文書」に記載のほか、設計書・仕様書内で適宜記載しているとおりです。
30	設計書・仕様書	p18 8 非機能要件 (4) 処理能力要件	「オンライン処理の応答時間はネットワーク遅延を除外して概ね5秒以内とし、良好なレスポンスで動作すること」とございますが、オンライン処理として対象とすべき処理をご教示ください。	検索・参照・更新を伴う処理全般を対象とします。
31	設計書・仕様書	p20 9. システム構築要件 (1) 現行システム構成 表8 現行システム構成図	電子図書館Webサーバおよび電子図書館DBサーバは現在どのような用途で使用しているかご教示ください。また、電子図書館DBサーバのデータ・コンテンツ容量もご教示ください。 ※用途により、サーバ統合を検討しております。	デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」のサイト構築及びWeb閲覧用データの保存に使用しています。 電子図書館DBサーバのデータ・コンテンツ容量は現在約521GBを使用しています。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
32	設計書・仕様書	p20 9. システム構築要件 (2) システム構築要件	「本システムの開発にあたって、パッケージソフトウェアやその他プログラムプロダクト（以下ソフトウェア）を使用することを許可しますが、その場合には本調達に必要な数量分のソフトウェアの費用を含むものとする。」とございます。 こちらは、5年間の運用期間で必要となる図書館システムパッケージソフトウェアと、開発環境で使用する市販ソフトウェア等の利用料を本業務の御見積に含めることでよろしいでしょうか。 その場合、その費用は「回答様式1 必要経費見積書」の(1)～(4)のどちらに計上すればよろしいでしょうか。	図書館システムパッケージソフトウェアやデジタルアーカイブ等のパッケージソフトウェアについては入札額及び回答様式1の項番1(3)に含むものとします。 その他のミドルウェアや各種ソフトウェア類の調達に発生する経費は項番3に含むものとします。 ただし、開発環境で使用する市販ソフトウェア等が、運用開始後も継続して利用することがない場合は、開発時期に発生する経費として、項番1の(1)～(4)のうち、利用終了時期に合わせて計上してください。
33	設計書・仕様書	p22 9. システム構築要件 (4) ハードウェア・ネットワーク要件 イ ハードウェアの選定	「図書館内へのサーバ設置に伴い電源工事が発生する場合は、別途調達を行うこととする。」とございます。 200V電源の機器のご提案を検討しており、図書館様内に設置するには電源工事が必要になるかと存じます。今御見積にはその工事費用は含めないことでよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
34	設計書・仕様書	p22 9. システム構築要件 (4) ハードウェア・ネットワーク要件 イ ハードウェアの選定	「オンサイト保守が可能な機器を選定すること。」とございます。 弊社では、バーコードリーダやレシートプリンタなど代替機での運用可能な機器は、図書館様にて代替機に切替えていただき、故障機を送付いただいて修理を行うセンドバック保守をご提案しております。弊社方式をご提案してもよろしいでしょうか。	バーコードリーダ、レシートプリンタ及びハンディターミナルにおいてはセンドバック保守を可とします。その場合、5年間の運用期間中で必要となる代替機器の台数及び調達経費を明示してください。代替機器の調達経費については、回答様式1の項番2に計上してください。
35	設計書・仕様書	p22 9. システム構築要件 (4) ハードウェア・ネットワーク要件 イ ハードウェアの選定	使用する機器は、特定のメーカーに依存することなく、広く調達できること。」とございます。 調達する機器は、弊社システムで稼働確認がとれ、かつ弊社にて保守業務が可能である機器を選定する必要があるため、調達機器は、機種指定をしていただく必要がございます。その旨、賃貸借仕様書案作成業務で、図書館様と協議させていただけるとの認識でよろしいでしょうか。	本市では、事業目的・使用目的のために必要な性能・機能などを備えた製品が特定の機種に限定される場合、真にやむを得ない場合に限りのみ製品指定発注になります。賃貸借仕様書案作成業務の中で、必要な性能・機能を明確化した上で、製品指定発注の可否を判断します。
36	設計書・仕様書	p22 9. システム構築要件 (4) ハードウェア・ネットワーク要件 イ ハードウェアの選定	「24時間以内に部品交換可能な機器を選定すること」とございます。 こちらは原則、という認識で宜しいでしょうか。 交換部品の在庫状況により、24時間以内での対応が難しい場合も考えられ、その際は、その都度ご相談をすることでよろしいでしょうか。	やむを得ない事情がある場合を除き、仕様書のとおりです。
37	設計書・仕様書	p23 9 システム構築要件 (6) システム開発環境等	システムテストや運用テストにおいては、「システムの本番運用環境で実施すること」とございますが、使用するデータについても本番データを使用する想定でよろしいでしょうか。	使用するテストデータについては設計書・仕様書「9 システム構築要件」 「(8) テスト要件」 「エ テストデータ」に記載のとおりです。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
38	設計書・仕様書	p23 9 システム構築要件 (7) システム移行要件 ウ データ移行作業内容 (7) データ移行作業場所	「データ移行に係る作業は本市が指定する場所で本市立ち合いのもと実施すること」とございますが、不正データの確認などについても立ち合いのもとで実施するのでしょうか。また、作業場所については受託者の事業所内とすることは可能でしょうか。	設計書・仕様書「9 システム構築要件」「(7) システム移行要件」「ウ データ移行作業内容」「(7) データ移行実施」について、本市立ち合いのもと実施とします。また、作業場所を本業務の受託者の事業所内とすることは想定していません。
39	設計書・仕様書	p25 9 システム構築要件 (7) システム移行要件 ウ データ移行作業内容 (4) 現行システムファイル仕様の整理及び確認	「受託者は、現行システム保守管理者から提供される現行システムファイル仕様及びサンプルデータの確認を行うこと。」とございますが、データ移行仕様の作成のために参照できるデータはサンプルデータだけでしょうか。テスト抽出した全件データを確認することはできませんでしょうか。	設計書・仕様書「9 システム構築要件」「(7) システム移行要件」「ウ データ移行作業内容」「(4) 現行システムファイル仕様の整理及び確認」に「データ項目の過不足等がある場合、本市に確認を行いながら対応方針を共同で検討すること。」とあるとおり、データ移行仕様の作成のための参照範囲を共同で検討することとします。
40	設計書・仕様書	p25 9 システム構築要件 (7) システム移行要件 ウ データ移行作業内容 (7) データ移行実施	「なお、現行システムと本システムを比較しデータ項目の不足がある場合は、新たにデータ項目を生成して移行すること。」とございますが、本システムでは使用しないデータ項目については図書館様と協議の上、移行対象外としてよろしいでしょうか。	本市の提示する仕様を実現可能であれば、協議の上、一部データの移行を対象外とすることを可とします。
41	設計書・仕様書	p25 9 システム構築要件 (7) システム移行要件 エ 移行スケジュール表 9 システム別リリース時期想定	インターネット蔵書検索システム、地区センター蔵書検索システム、デジタルアーカイブ、横浜市地域情報ポータルサイトのリリース時期想定が「令和5年12月末頃」でデータ移行期間(12/29～1/4)よりも早い時期となっています。こちらのリリースはデータ移行完了後、基幹業務システムと同じタイミングとしてもよろしいでしょうか。	現行システムのサーバ撤去後にも、インターネット蔵書検索システムにアクセスした際はメンテナンスページ等が継続して表示されることを想定しています。このように、アクセス不能となる空白期間が発生しないことが実現可能であれば、本市想定スケジュールと異なる提案も可とします。その場合は、提案書にてスケジュール案を提示の上、予測しうる本市への影響を記載してください。
42	設計書・仕様書	p25 9 システム構築要件 (8) テスト要件 イ テスト方法 (7) 単体テスト、 (4) 結合テスト	パッケージ標準機能においては、テスト計画から除外してもよろしいでしょうか。	本市の業務規模を加味した上で、パッケージ標準機能についてテスト計画から除外とする場合、テスト対象外とする主旨及びその根拠（パッケージ製品としての出荷時点で実施済みである等）を提案書に記載してください。 なお、結合テストについては、カスタマイズ機能との組み合わせによる影響がないことを本市に理解可能な形式でテスト計画書に明示してください。
43	設計書・仕様書	p29 11納品物件(2) 提出物・提出方法・納期	パッケージ部分の設計書は、不要でよろしいでしょうか。	本市提示の仕様を実現する上で必要となる機能に関する各種設計書は、パッケージ部分・カスタマイズ部分といった区別なく、納品対象とします。
44	設計書・仕様書	p30 12. 特記事項 (1) 知的財産権に関する定義	「パッケージシステムのカスタマイズを行った場合の該当箇所の著作権は本市に帰属する。」とございます。 カスタマイズが汎用性のある仕様だった場合も、こちらは適用されるのでしょうか。もしくは横浜市様のみ適用される独自仕様の場合に対して、との認識でよろしいでしょうか。	本市のみに適用される独自仕様の場合に対して、とのご認識で相違ありません。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
45	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	ア.基幹業務システム 415 6. 資料管理業務	「BOOKデータベースの内容細目ファイルのデータを登録できること」とございますが、トーハンマークのオプションとして提供される、内容紹介、目次のBOOKデータベースのことでしょうか。	当館では新刊MARCとしてトーハンマークを採用しておりますが、別契約にて以下の製品を購入しています。 ■「BOOK」データベース <a href="https://www.nichigai.co.jp/dcs/index3.html">https://www.nichigai.co.jp/dcs/index3.html</a> 本機能要件では、BOOKデータベースの内容紹介、目次の情報を登録できることを意味していますが、登録に関する詳細は開発時に図書館と協議の上、決定できることとします。
46	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	【オ. 地区センター蔵書検索システム】	地区センター蔵書検索システムで使用する書誌情報については基幹業務システムと共通と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
47	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	ア.基幹業務システム 356 6. 資料管理業務	「図書：TRC-MARC、トーハン-MARC、JAPAN-MARCの各データをデータベースに登録、活用可能であること。なお、現行システムでは新刊MARCとしてトーハンマークを採用しているが、遡及登録されている書誌はトーハンマーク以外のマークも混在している。」とございますが、トーハンマークでの遡及を過去に行っているでしょうか。その場合、遡及したマークファイルは保存してあるでしょうか。	項番358への質問と想定し、回答いたします。 トーハンマークの遡及登録を実施した実績はありません。
48	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番66	納品前に試験を実施するという事は、アクセシビリティチェックを外部機関に委託することは想定していないということでしょうか。	本市と外部機関で委託契約を締結し、実施する想定はありません。 なお受託者は、公開前に設計書・仕様書「13 適用文書」「(6)「WEBページ作成基準」及び「Webアプリケーションの作成基準」に記載のチェックを実施することとします。
49	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番124	「複数の資料を一括で貸出延長処理をする時」とは、以下のどちらの機能を指していますでしょうか。 ・項番122「利用者番号の特定により、貸出中資料の一覧から複数の資料を選択して一括で貸出延長処理ができること」 ・項番123「利用者番号を特定せず、資料番号を用いて貸出延長できること」	両方該当します。
50	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番129	「複数の資料を一括で貸出延長処理をする時」とは、以下のどちらの機能を指していますでしょうか。 ・項番122「利用者番号の特定により、貸出中資料の一覧から複数の資料を選択して一括で貸出延長処理ができること」 ・項番123「利用者番号を特定せず、資料番号を用いて貸出延長できること」	両方該当します。
51	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番13	「各メッセージの音を変えることができること」とは、メッセージの種類ごとに異なる音を設定するという理解であっていますでしょうか。	お見込みのとおりです。
52	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番137	「出力館・場所ごとに異なる画像を出力できること」の「場所」とは、出力館のことでしょうか。それともレシートの画像印字場所のことでしょうか。	場所とは、出力場所を指しています。レシートの画像印字場所のことではありません。

#### 第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
53	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番14	入力必須項目の記号等での表示は、全ての画面必要でしょうか。それとも、一部の画面のみでのよろしいでしょうか。	一部の画面での表示に限る場合は、代替手段案として記載してください。
54	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番173	返却処理画面からワンタッチで遷移した先の画面で貸出残数を確認する方法でも代替可能でしょうか。	代替可とします。代替手段案として記載してください。
55	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番179	画面上での参照ではなく、データ抽出ツールでの参照でも代替可能でしょうか。	データ抽出ツールでの参照は代替不可です。作業者がリアルタイムで確認できるように、画面上から参照できる必要があります。
56	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番191	貸出処理時に未登録資料の登録を行う方法でも代替可能でしょうか。	代替可とします。代替手段案として記載してください。
57	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番28	「処理場所ごと」か「ログインユーザグループごと」のどちらかで操作制限ができれば良いでしょうか。	お見込みのとおりです。
58	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番36	帳票にはレシートも含まれますでしょうか。	含みます。
59	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番439	「評価額」について、入力フォームをわけるとの対応により、他の金額関係の項目と区別できるようにする必要があるでしょうか。	入力フォームを別途設ける必要はありません。
60	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番58	クライアント端末で処理館と処理場所を変更する業務をご教示いただけませんかでしょうか。 (貸出、返却、発注、等)	例えば、中央図書館での選書会議や見計らい図書の選定の際、中央図書館以外の各館の職員が中央図書館内の端末の処理館・処理場所を自館の館・場所に変更して発注処理を行うことがあります。また、現行システムでは青葉区地区センターがオフライン拠点のため、青葉区地区センターに配送する予約資料は山内図書館で処理館・処理場所を青葉区地区センターに変更して、搬送受取業務を行っています。発注業務や搬送受取業務以外でも、貸出や返却等での資料状態が不正だった場合、正常化するために、処理館・処理場所を変更する場合があります。
61	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番607	「装備完了日」とは資料の装備が完了した日付のことと存じますが、「資料を受入れた日付」でも代替可能でしょうか。	現行システムでは「資料を受入れた日付」は「受入日」として管理しており、配送処理を行った日を「装備完了日」として管理しています。受入日とは別に、利用可能になる日付を管理できれば、それを「装備完了日」の代替とすることは可能です。
62	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番776	項番776の「音声読み上げシステム」は、利用者の方と職員様のどちらが使うことを想定したシステムでしょうか。	図書館業務に従事する職員をユーザーに想定した業務システムです。



第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
63	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番794	「他言語話者」について、英語や中国語表記の画面を用意する必要があるという認識でよろしいでしょうか。それとも日本語初学者向けのやさしい日本語表記の画面でしょうか。	英語や中国語といった他言語を想定しています。
64	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番849	「受取待ち状態かつ未連絡の予約資料」について、利用者が能動的に「確認した」というボタンを押下したタイミングで、受取期限日を自動的に設定する仕組みでも代替可能でしょうか。	項番849において、表示されたメッセージを利用者が能動的に確認する仕組み（「確認」ボタンの押下等）によって「メッセージが確認された」とみなし、「当該予約資料の受取期限日が自動的に設定」されれば、問題ありません。
65	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番94	「予約受取待ち資料の件数」について、貸出画面からワンタッチで遷移した先の画面で確認する方法でも代替可能でしょうか。	代替不可とします。
66	別紙5_現行システム機器調達仕様	3 端末機器一覧 3-1 業務端末（デスクトップPC）	PC・モニタの一体型モデルで提案してもよろしいでしょうか。	本市が想定する性能を満たすのであれば、問題ありません。また、提案の際にはそのことがわかるように記載の上、提案してください。
67	別紙5_現行システム機器調達仕様	3 端末機器一覧 3-1 業務端末（ノートPC）	オフラインの図書取次拠点について、サーバとオンライン接続が必要な以下の機能について、現在どのように運用しているかご教えてください。 ・ウイルス対策ソフトの定義ファイル更新 ・Windowsパッチの適用 ・資産管理ソフトの管理	ウイルス対策ソフトの定義ファイル更新及びWindowsパッチの適用は定期的にインターネット経由で実施しています。また、資産管理ソフトウェアでは管理していません。
68	別紙5_現行システム機器調達仕様	3 端末機器一覧 3-1 業務端末（デスクトップPC） 3-2 業務端末（ノートPC）	リース期間サポート可能なMicrosoft365を予定しています。 ユーザー単位のライセンスとなるため、Officeをご利用予定の人数をご教えてください。	約300人想定で提案してください。
69	別紙5_現行システム機器調達仕様	P33 3 その他サーバ製品 3-3 テレフォニーボックス（機能）	「日立製作所製音声応答システムの動作を保証できる製品であること」とありますが、この中にガイダンス（文言、ボタン割り当て、流れ、VoiceTextの音声の種類）は含まれますか。	お見込みのとおりです。別紙5「現行システム機器調達仕様」は現行システムの仕様であるため、この限りではありません。自動音声応答サービスについては、別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」における「12.自動音声応答サービス」の機能要件も御参照の上、必要なシステム構成を提案してください。
70	別紙5_現行システム機器調達仕様	p 33 3-4 ラックキャビネット	現行システムでは、38U（600(W)×1050(D)×2072.8(H)mm）のラックをご利用されていますが、中央図書館様には42U（W600×D1,000×H2,088 mm）のラックも設置可能でしょうか。	設置可能なスペースはあります。
71	別紙5_現行システム機器調達仕様	p 50 3-2 業務端末（ノートPC） (2) ソフトウェア	「Microsoft Access 2016を図書館取次拠点の全13台中6台（各地区センター）に導入すること」と、ございます。 こちらはWord、Excel等は不要で、Accessのみを導入すればよいとの認識でよろしいでしょうか。	現行システムでは帳票の抽出及び出力にMicrosoft Accessを使用しており、その他の業務では使用していません。貴社システムに必要なソフトウェアがあれば、Microsoft Accessに限らず、提案してください。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
72	別紙5_現行システム機器調達仕様	p50 3-3 移動図書館用端末	移動図書館用端末は、業務用ノートPCと記憶領域の仕様が異なっていました。 移動用：SSD128GB以上 業務用：HDD500GB以上 移動図書館用端末は、他の業務用ノートと異なり、SSDである必要はございますでしょうか。それとも他の端末と同じく、HDDとしてもよろしいでしょうか。	移動図書館用端末は基本的に屋外で利用するため、物理的衝撃からの強度を考慮し、SSDを想定した仕様となっています。HDDで提案していただく場合はそのことがわかるように記載の上、HDDを選定した理由もあわせて提案してください。
73	別紙6_現行システムの利用状況（移行対象データ）	表1 基本情報	移行対象データに、「人名典拠情報」、「件名典拠情報」とありますが、典拠DBの種類は2つだけでしょうか。 典拠テーブルのデータ形式は独自の形式でしょうか。また、トーハンの人名典拠を購入、取込しているでしょうか。	お見込みのとおり、典拠データベースは2種類ですが、どちらも当館独自の形式で構築し、運用しています。人名典拠情報及び件名典拠情報は、新刊MARC（トーハンマーク）をデータベースに登録する時にトーハンマークに含まれる典拠情報から自動で生成し、当館独自の典拠データベースに登録しています。
74	別紙7_運用・保守要件	No.60 障害二次対応 保守交換対応	クライアントおよび周辺機器の保守対応時間については、24時間対応ではなく、各図書館様の開館時間をカバーしていればよろしいでしょうか。	設計書・仕様書「8 非機能要件」「(1) 前提条件」「イ システムの利用時間」に示す「表4 システム別利用時間」より、基幹業務システムのサービス時間は午前7時30分から午後9時としております。保守交換対応の時間は、毎回対象館・拠点との協議することになりますが、基本的にこの時間内の対応が可能であれば問題ありません。機器によって保守交換対応の時間が異なる場合、記述が可能な範囲で記載してください。
75	別紙7_運用・保守要件		リモート保守を考えております。 図書館様と弊社を結ぶ保守用専用回線を引く場合、その構築作業費は、今業務に含まれるでしょうか。	リモート保守を提案していただく場合、リモート保守用の専用回線を構築する作業費用は回答様式1の項番1(3)の項目に計上してください。また、記述可能な範囲で、その積算の根拠となる内訳を記載してください。
76	回答様式1 必要経費見積書	「4.2 ハードウェア構成・ネットワーク構成」	機器等のリース費用について、リース料率のご指定がございましたら、ご教示ください。	指定はありません。可能であれば、回答様式1の備考欄に貴社想定のリース料率を明記してください。
77	回答様式1 必要経費見積書	「4.3 ソフトウェア構成」	こちらには、市販ソフトウェアのうち、導入時に一括調達するものに関しては、リース調達するとして、リース料率をかけた費用を計上してよろしいでしょうか。  そしてそれらの費用に、年次のライセンス更新費用を加算した費用を計上すればよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。リース調達をする場合、リース料率をかけた費用、年次のライセンス更新費用を加算した費用を計上してください。
78	回答様式1 必要経費見積書	-	5年間の回線費用も、今回の御見積に含める必要はございますでしょうか。	回線様式1には回線費用を含めずに記載してください。 ただし、現行運用（設計書・仕様書「9 システム構築要件」「(1) 現行システム構成」に示す「表8 現行システム構成図」）と異なるネットワーク構成を提案する場合等、新たな回線供給を必要とする御提案については、提案書にその旨と想定される回線費用（記述可能な範囲で）も記載してください。
79	第4次図書館情報システム設計開発業務委託提案書作成要領	p2 1(2)	提案書は、提案書本編、回答様式1～3等の資料をまとめて、正本1部と、副本15部をご用意するようにご指示ございます。各資料の枚数が多くなり、1冊にまとめることが困難となった場合は、資料ごとに製本したものを、ご指定の部数の提出でもよろしいでしょうか。	提案書本編及び回答様式1～3については、原則一冊のファイルに綴じられるようにしてください。付属資料がファイルに収まらない場合には、別綴りとして構いません。

#### 第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
80	設計書・仕様書	12-13ページ 7機能要件 (1) 基幹業務システム	電話回線を利用する情報ダイヤル（自動音声応答システム）について2点確認させてください、 ・オンプレ、クラウドのいずれの場合も、音声応答システムのための電話回線は現行の回線を継続利用でしょうか？ ・クラウドの場合、電話回線を利用するため音声応答のためのNW機器・サーバ機器は中央図書館に機器を設置することは可能でしょうか。	設計書・仕様書「8 非機能要件」「(6) その他の要件」のとおり、電話番号については継続利用できることが望ましいですが、オンプレ、クラウドいずれの場合も、構成の都合等で電話回線または番号の継続利用が困難な場合は提案書に記載してください。 クラウドの場合も、中央図書館内に現行機器と同程度のサイズであれば、設置することは可能です。 なお、現在はアナログ回線・通話料は利用者負担です。電話回線の変更や追加、転送等により通話料が新たに発生する場合は提案書に記載してください。
81	設計書・仕様書	14ページ 7機能要件 (7) その他の要件	「エ 文字コード」UTF-8とのことですが、現在のシステムもUTF-8でしょうか。また、外字は利用していますか。	現行システムの文字コードはUTF-8です。また、外字は利用していません。
82	設計書・仕様書	23ページ 9 システム構築要件 (7) システム移行要件	記載の4回では、本番データの移行自体は「4回目：12月末」のみに読み取れます。本番移行のための抽出回数の追加は可能でしょうか？	設計書・仕様書におけるデータ抽出実施時期は本市の想定した案です。抽出回数や時期については、システム移行要件を満たす範囲で、貴社の御提案を記載してください。
83	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	14.音声読み上げ	現在使用されている音声読み上げソフトの製品名・ベンダ名をご教示ください。	別紙5「現行システム機器調達仕様」より、「横浜市立図書館情報システムのサーバ機器等の借入仕様書 別紙1（平成29年度）」(p.49)の音声読み上げ機能で想定しているソフトウェアを導入しています。
84	別紙4 運用場所別構成台数		各図書館の既存端末、プリンタ、ネットワーク機器の配置図をいただけますでしょうか。	セキュリティ関連情報を含むため、現行システムの配置図は契約決定後に提示します。
85	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番364 6.資料管理業務 書誌（MARC）	LANケーブル、タップは、既存流用の認識でよろしいでしょうか。新刊MARC登録時に分類番号を決めるために指定する条件(書誌の種類、更新前の分類番号等)を確認させてください。特定のタグ等、登録するMARCデータから判断できる条件でしょうか。	LANケーブル、タップについては項番364ではなく、設計書・仕様書または回答様式1への質問と想定し、回答いたします。LANケーブル、タップの流用については現時点では未定であり、本調達範囲外です。回答様式1はその分の経費を含めず、記載してください。 また、新刊MARC登録時に分類番号を決めるために指定する条件は、現行業務説明資料の現行帳票及び現行業務フロー参考資料より、「8_新刊MARC登録時の分類番号自動生成・編集仕様」を御参照ください。
86	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番44 1.基本仕様	「異なる桁数の資料番号を扱えること」とありますので、資料番号の移行データに10桁以外のデータが存在するという理解で良いでしょうか？	項番44は10桁未満の桁数の資料番号（バーコード）が読み込まれた場合に、処理できることを指します。現行システムに登録されている資料番号は全て10桁ですが、資料本体に10桁未満の桁数の資料番号（バーコード）が貼付されている場合があります。
87	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番44 1.基本仕様	資料番号のバーコード印字と移行データの桁数は同じと理解して良いでしょうか。	資料本体に貼付されている資料番号のバーコード印字桁数と移行データ（システム上の資料番号データ）の桁数は異なる場合があります。同じシステムに登録されている資料番号は10桁ですが、一部（主に古い受入れ資料）の資料本体には、10桁未満の資料番号のバーコードシールが貼付されているためです。なお、その場合、システム上では10桁に不足する分0を追加した資料番号を登録しています。詳細は項番45で例示しています。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
88	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	項番45 1.基本仕様	資料番号のバーコード印字と移行データの桁数が異なり、例示されているように移行データの資料番号（10桁）はバーコードの番号（8桁）の先頭に00をつけたものである場合、資料番号データ（10桁）をバーコードと同じ番号（8桁）に変換して移行することは問題ないでしょうか？ 上記のデータ移行を行うと本項記載の機能は不要になると考えます。	資料本体に貼付されている資料番号のバーコード印字桁数と移行データ（システム上の資料番号データ）の桁数は異なる場合があります。なお、資料本体に貼付されている資料番号のバーコード印字桁数が10桁未満かどうかはシステム上では区別できません（資料本体でバーコードを確認する以外に判断する方法はありません）。現行システムで管理している資料番号データの桁数はすべて10桁のため、移行時に資料番号を変換して登録する作業は発生しない想定です（現行システムの資料番号データをそのまま移行）。 項番45は、資料本体に貼付されているバーコード（資料番号）が10桁より少ない桁数だった場合に、そのバーコードを読み取りした時の機能を指しており、必要である想定です。
89	(回答様式1 必要経費見積書)	-	パッケージ費用は見積書のNo1「第4次図書館情報システム設計開発業務委託経費」に含まれるでしょうか。それとも、No2「4.2 ハードウェア構成・ネットワーク構成」本システムの構築に必要と想定される機器類のリース費用またはクラウド環境の利用料」やNo3「4.3 ソフトウェア構成」本システムの構築に必要と想定される調達費用」に含まれる想定でしょうか。	図書館システムパッケージソフトウェアやデジタルアーカイブ等のパッケージソフトウェアについては入札額及び回答様式1の項番1(3)に含むものとします。
90	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	76	「貸出資料を読み取った結果、貸出不可だった場合は、ポップアップメッセージ等を表示し、貸出するか否か選択できること。」とありますが、「貸出不可」は何を元に判断されているでしょうか。（例：利用者区分別、資料の種類別など）	資料の取扱区分（禁帯出等）や貸出冊数上限値、雑誌（最新号）の貸出開始日といった、貸出条件に合致するかどうかで判定しています。
91	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	78	「予約割当済み資料と同一書誌の別資料を貸出す際も、予約情報を削除せず保持すること。予約を削除する場合は、予約割当済み資料と同一書誌の別資料を貸出したタイミングで予約削除した旨をポップアップメッセージ等で通知するとともに、後で予約棚から該当資料をピックアップするための手段があること。（例：該当資料を帳票やファイルで抽出し確認できる等）」とありますが、予約情報を削除せず保持する理由は何かございますでしょうか？（例：利用者からの問い合わせ対応のため など）	現行システムでは予約割当済み資料と同一書誌の別資料が貸出されたことを図書館職員が検知する機能がありません。そのため予約情報を残すことで、ピックアップ等の対応を都度しています。
92	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	311	「予約連絡方法は利用者による予約ごとの選択ではなく、 (有効な)メールアドレス登録有無といった利用者情報をもとにした優先順位に従って決定すること。なお、利用者への予約連絡について、メール、電話、利用者用端末またはWebOPAC（利用者認証）別での連絡対象の詳細は、現行業務説明資料を参照すること。」とありますが、利用者端末やWebOPACから利用者が予約時に自ら「予約連絡方法」を指定できる、予約後に変更できる必要は無いでしょうか。	項番311は、システム側で自動的に判定する機能を意味しています。御提示のような意図はありません。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
93	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	320	「他館に所蔵されている特定の資料を回送依頼した際に、リアルタイムで依頼先館のプリンタに至急在庫確保依頼票が出力されること。至急在庫確保依頼票の要件は帳票要件一覧を参照すること。」とありますが、「予約回送（至急）」の運用が発生する頻度（至急在庫確保依頼票が出力される頻度）はどの程度でしょうか。（例：1時間に1件程度、1日に1件程度 など）	繁忙期及び館によって頻度の差はありますが、おおよそ1館あたり月1～10件程度です。
94	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	355	「返却待ちの予約があり、かつ書架状態の資料を確保するための一覧を所蔵館ごとに以下のルールに則って振り分けられること。」とありますが、予約確保に際しては常にこのルールで振り分けられ、確保される認識でよろしいでしょうか。	項番335への質問と想定し、回答いたします。 お見込みの通りです。項番335の機能は、予約確保作業に使用している帳票（別紙2「帳票要件一覧」兼回答様式3「帳票要件回答票」「帳票要件 一覧・回答票」の項番5「予約在庫確保一覧」②振分け版）における振り分け条件を示しています。夜間バッチ処理により振り分けが行われ、各館で自館分の帳票を抽出しています。ただし、確保対象候補の資料が書架から確保される前にその複本が返却や搬送受取で読み込まれた場合は複本が予約割当されます。
95	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	773	「各館で入力した児童書の選定情報について、フラグ等の情報を付与することで、その状態により編集権限を制御できること。」とありますが、編集権限の制御はどの範囲での排他制御が必要でしょうか。（例：A館で更新した内容はB館では更新不可、担当者aが更新した情報は担当者bが更新不可 など）	フラグ等の情報（現行システムでは「確定フラグ」と表示）が付与される前の未確定状態にある児童書選定情報は、児童書の選定情報を作成した館（選定情報の作成館は新規登録をした処理館を参照し、固定値として自動入力されます。）または中央図書館の担当者のみが編集できます。その場合、両者間での排他制御は必要ありません。 当該児童書選定情報の内容を確定したタイミングで、中央図書館の担当者がフラグ等の情報を手動で付与します。このフラグ等の情報を付与する操作は中央図書館の担当者のみが実行できます。 フラグ等の情報が付与され、内容を確定した児童書選定情報は、中央図書館の担当者以外は編集することができません。 なお、上記における編集権限の制御は、館（作成館または中央図書館）単位、グループ単位、ユーザー単位といった、いずれの単位による実現でも可とします。
96	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	876	「館外との接続を考慮し、個人情報を有する領域とは別の専用領域を使用すること。」とありますが、「横浜市インターネット情報発信ガイドライン」「WEB ページ作成基準」を厳守し個人情報の流出リスクに最大限配慮する義務があると認識しています。その実現ためにサーバ構成については、外部用のデータベースと内部用のデータベースに完全に分離し、個人情報は内部用のデータベースにしか保持しない構成が必要であると考えておりますが、その認識で正しいでしょうか。	お見込みのとおりです。ただし、実現する手法としてはこの限りではありません。
97	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	876	「館外との接続を考慮し、個人情報を有する領域とは別の専用領域を使用すること。」とあります。不特定多数の利用者からの踏み台防止のため、公開系データベースを介して業務系データベースにアクセスする通信方式ではなく、公開系データベースと利用者間だけで通信を完結する仕組みを採用する必要があると考えておりますが、その理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。ただし、実現する手法としてはこの限りではありません。

第4次図書館情報システム設計開発業務委託質問回答書（令和3年11月11日掲載）

No.	資料名等	項目 (ページ数等)	質問内容	回答
98	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」	1028	「複数の画像形式（jpeg、DjVu、tiff、Sid等）に対応していること。」とありますが、DjVu、Sidについては画像形式としてのフォーマットが古いので、弊社システム以外でも再生できるプラグインなどが無くなりつつある状況です。移行対象としてはDjVu、Sidにする前の元画像でシステムに登録することを想定しておりますが、その方針でもよろしいでしょうか。	DjVu、Sidについては、その想定で問題ありません。御提案にその旨を記載してください。
99	別紙2「帳票要件一覧」兼回答様式3「帳票要件回答票」	No32 新刊確保情報一覧 72～73P	「[書店または寄贈者]及び新刊確保登録日を条件とした、確保された資料の書誌及び確保冊数の一覧」とありますが、「新刊確保登録日」とはどのような日付（どのようなタイミングで登録・更新される）でしょうか。 例) 書店から納入されることが確定した日付（納入予定日）	別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」の項番561にあるとおり、当館が事前に契約書店で確保している冊数について、契約書店ごとに資料現物（確保された冊数）が実際に中央図書館に納品された時点で登録（更新）しています。
100	別紙2「帳票要件一覧」兼回答様式3「帳票要件回答票」	■No40 受入タイムラグ統計 87～88P	「書誌登録から装備完了までの段階別に経過した日数の資料点数一覧」とありますが、以下2つの状態について起点となる日付のイメージを教えてください。 「受入済」は本が受入された（受入済の状態になった）日付（＝受入日のようなイメージ）が起点となる認識でよろしいでしょうか。 「装備完了」は本が貸出可能となった日付が起点となる認識でよろしいでしょうか。	「受入済」は受入日を起点日として参照しています。受入日は現行業務説明資料の現行業務フローより「4_発注・受入」で簡易受入処理時自動的に入力されます。 「装備完了」は装備完了日を起点日として参照しています。装備完了日は現行業務説明資料の現行業務フローより「4_発注・受入」で配送処理時に指定した日（初期値は作業日当日）が自動的に入力されます。
101	別紙2「帳票要件一覧」兼回答様式3「帳票要件回答票」	■No46 調整費館別執行状況一覧 103～104P	指定した条件（中央図書館の予算「調整費」）での、各館別の予算執行状況一覧（集計結果）横軸（出力例では未所蔵、少数所蔵、定番補強etc）がありますが、「少数所蔵」「定番補強」とは、どのような状態・意味のことでしょうか。 また、これらは「選定理由」などの意味でコード値として設定されており、そこから選択してデータ上に登録されるものでしょうか。その場合、他にはどのような値が存在するかご教授ください。 例) 「少数所蔵」＝所蔵が少ないため購入する。「定番所蔵」＝利用頻度が高いため冊数を増やす。	「未所蔵」「少数所蔵」等の選定理由の内容はコード値として管理しています。別紙1「機能要件一覧」兼回答様式2「機能要件回答票」の項番548より、発注入力する際には選定理由の内容を示すコードも入力しています。 主なコード値の用途は以下のとおりです。 ・未所蔵：横浜市内に所蔵がない資料を購入する際等 ・少数所蔵：横浜市内での所蔵が少ない資料を追加で購入する際等 ・定番補強：児童書の定番書をどの程度買い換えしたかを把握する際等